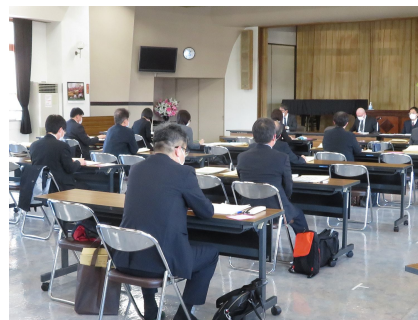


「より深める より開く より据える」 ～今できることを、できる形で～

コロナ禍でも工夫と改善を重ね、力強く前進し続けた令和3年度諏訪教育会

第5回社員総会開催

3月3日（木）、今年度のまとめとなる第5回社員総会が行われました。新型コロナウイルスまん延防止等重点措置の中、感染拡大防止のため中学校区を基本としたグループの代表者にご参加いただき人数を縮小して開催しました。ご協力ありがとうございました。「令和4年度諏訪教育会事業計画」と「令和4年度収支予算書」が承認されました。続いて令和3年度公益社団法人諏訪教育会事業報告が発表されました。



池田秀司会長の挨拶より

今回は代表の方に集まっていた。今後もこのような形態となる場合も考えられる。



2階から3階の階段の途中に額に入った絵がある。先日配付された会誌諏訪教育の表紙の絵である。本教育会OB五味一男先生より原画を寄贈していただいたものである。教育会の活動も、12月までは概ね実施することができたが、年が明けてから人が集まることができなくなったため、最後のまとめを各委員会が十分に行うことができなかった。しかし、今年度各委員会が工夫して実施してきたことは、大きな財産として来年度につなげてほしい。

各部の報告より（抜粋） 詳細は、「事業報告書」をご覧ください。

(1)教科等研究部：小口部長

- ・コロナ禍であっても形を変えたり感染症対策を万全に行ったりして、「新学習指導要領の趣旨に基づく実践研究」「会員や地域に開かれた委員会活動」「中核的な研究会・研修会」の事業を進め、実践的な学び合いの場をもつことや多くの方への発信をすることができた。

(2)専門部：内藤部長

- ・地域の方と連携を図り、児童・生徒に生きる活動を大事にする
- ・公益化を考えて地域とのつながりのパイプ役となり多くの方に知っていただくよう発信していく。

(3)研修部：小口部長

- ・「諏訪の子どもや教育を語る会」は教職員のみ参加。今後、従来形の形に戻していく。
- ・各種研究会への助成の継続。地域研修は申請のあった学校全てに助成。

(4)広報部：坂本部長

- ・会誌「諏訪教育」：「特集」「特別企画」等内容の検討をしていく。
- ・会報：伝統・編集方針の基本を継承しつつ、さらに公益化の点で内容の充実に努める。

(5)諏訪季節大学部：中澤部長

- ・第377回季節大学会を公益社団法人化10周年記念講演会として、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、池上彰氏を講師に迎え「コロナ禍で学ぶということ」を演題に行った。

(6)自然調査研究部：藤森部長

- ・児童生徒の自然に対する関心・意欲がより一層高まるよう努めていく。
- ・5つの委員会はそれぞれテーマ等を決め、調査研究を継続して進めていく。

(7)郷土調査研究部：小林部長

- ・「諏訪の歴史ハンドブック」(古代中世近世編)の執筆・検討。今後もさらに進めていく。
- ・登山の菜「ハケ岳」第10版、郡内外に早い時期から購読斡旋を進める。

(8)諏訪教育博物館部：伊藤部長

- ・企画展やワークショップ好評。本年度も来館者数1500人を超えた。PRを継続する。
- ・山城のパネルや「諏訪の植物のあらし」パネルの新たな設置等館内リニューアルを進めた。

(9)特別部：古清水部長

- ・来年度の諏訪教育会設立140周年に向け、沿革史構成検討。
- ・Webページの更新。今後はさらに活用していくよう充実を図る。

協議より 社員の皆さんより諏訪教育会事業運営への意見・要望をいただきました。

地域のことを知るための研修の後押し

地域視察研修助成を活用して、中学校区4校合同の研修を実施した。職員の資質向上につながる重要な研修への助成がありがたく、是非継続していただきたい。

貴重な学びの場 諏訪季節大学

参集することが厳しい中、細心の注意を払いながら開催していただいたことに感謝。他郡市より諏訪に赴任したが、377回という歴史の重みをあらためて感じている。子どもの前に立つ私たちは、常に学び続ける姿勢を大切にしたい。



意欲的参加で横のつながりの学びから校内の高め合いへ

専門部・研修部等各委員会の活動や「すわ学びの曳行」に職員が意欲的に提案や参加をした。教育会の事業で横のつながりで学ぶとともに、校内でも職員がアイデアを出し合い、ともに高め合うことにつながった。

委員会として種をまいていく活動に

「子どもが語り合う私たちのふるさと～総合的な学習の時間からの提言～」というフォーラムを総合的な学習の時間委員会で実施。六市町村の小学校から実践発表と意見交換会を行った。交流したことを各校に持ち帰ってもらうとともに、各市町村で共有し、隣の学校と協働しながら自分の市町村が抱える課題解決にチャレンジしてみる学習活動につながることを願っている。

【池田会長のまとめ】

教育会の活動を求めておられる方がたくさんいる。学びの場を求めている方がたくさんいて、その姿勢が子どもにかえっていているという事実がたくさん積み重ねられている。各校から出された意見要望については、真摯に受け止めつつ、本当に求められている活動をもっともっと皆さんに広めたい、伝えたいと考えている。一年間、ありがとうございました。

正副議長をお務めいただいた小出覚嗣社員（岡谷南部中）、村瀬裕美社員（永明小）のお二人には、一年間に渡って大変お世話になりました。ありがとうございました。



通りBOXをご利用ください

諏訪教育会館玄関横に、「通りBOX」が設置されました。賞状袋をはじめ、郵便ポストに入らない各種提出物や返却物にご利用ください。毎朝チェックしていただけるので安心して使えます。貴重品・秘文書は必ず郵便受けにお願いします。